

「水道事業広域連携推進協議会」立上げについて（案）

令和2年4月 長野県企業局

1 目的

本格的な人口減少社会を迎え、水需要の減少に伴う経営環境の悪化への懸念、施設の老朽化や事業の担い手不足などについては、規模の大小に関わらず県内の水道事業者共通の課題となっている。

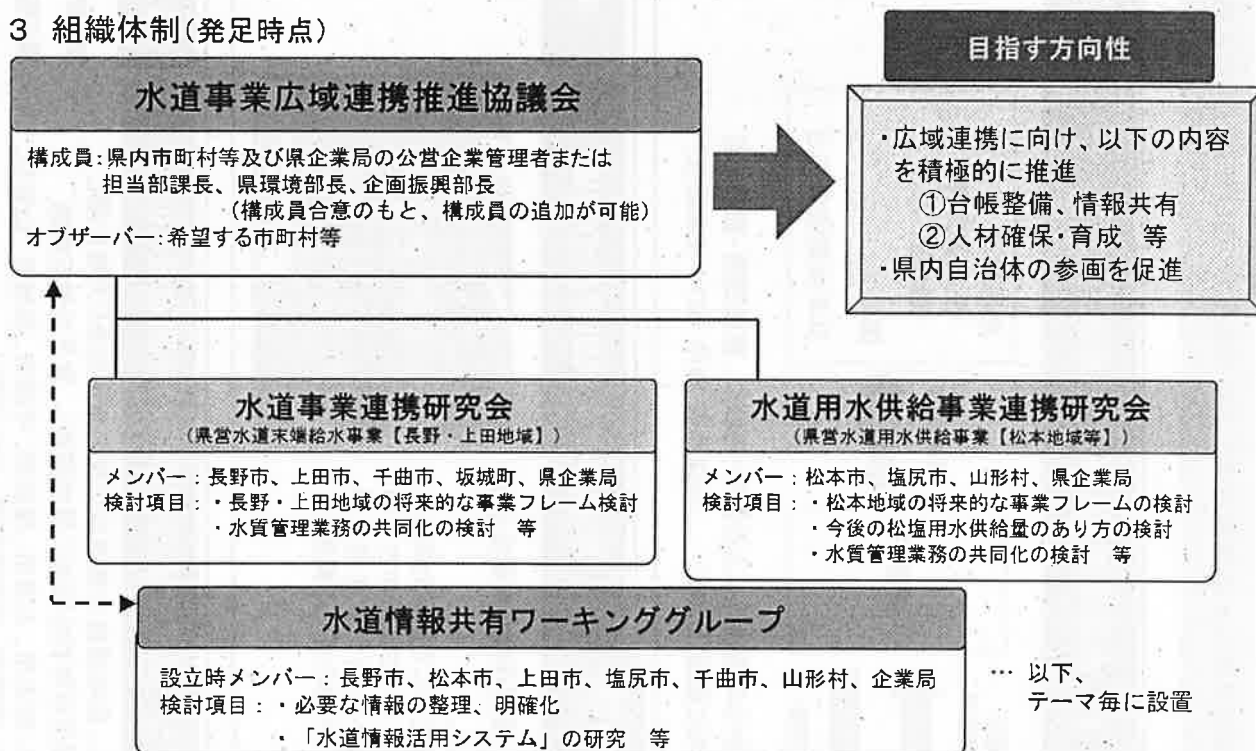
そこで、平成30年12月に成立した改正水道法も踏まえ、持続可能な水道事業経営の体制づくりに向けて、広域化・広域連携の推進や将来的な水道のあり方等に関して検討を行う。

2 所掌業務

長野県内の水道事業における広域連携の取組の方向性及び進捗状況等の確認・共有



3 組織体制(発足時点)



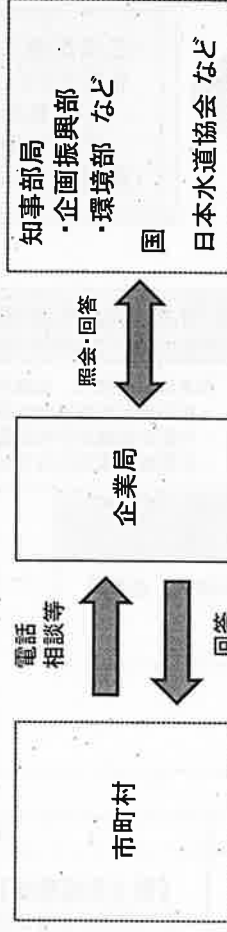
4 立ち上げに向けたスケジュール(R2年度)

R元年度	R2年度		
1～3月	4月～	上半期	下半期
・関係市町村との打合せ ・関係機関への情報提供	・関係市町村打合せ ・市町村等へ周知	【第1回協議会】 ・立上げ：設立時構成員以外の参加希望市町村等は、オブザーバーとして参加 ・検討項目：水道情報共有、人材育成等	【第2回協議会】 ・検討項目の進捗状況の確認 ・「水道情報活用システム」の研究状況の共有

水道法改正を踏まえ、持続可能な水道事業経営を確保するため、環境部及び企画振興部と連携して、現地の地域振興局とともに市町村等を総合的に支援

相談支援

1 水道事業者なんでも相談窓口



- 市町村の担当職員からの電話等による質問・相談に、直接回答・助言する
相談件数 59件（R1.12末現在）

2 水道事業市町村支援チームによるお出かけ相談



- 環境部及び企画振興部と連携して結成した水道事業市町村支援チームが、
現地の地域振興局とともに市町村を訪問
- 現地調査と首長や担当職員等との意見交換により、市町村が抱えている課題に
応じた支援や助言を実施（H30:4団体、R1:4団体）

技術的支援・人材育成

3 水道事業実務研修会の開催

- 企業局が市町村の水道関係職員を幅広く対象として研修を実施
- 技術講習会や講演会を通じて技術力向上を図るとともに、少人数グループに分かれての意見交換や全員が1対1で行う「大名刺交換会」等を通じて、相互に「顔の見える関係」を構築
（H30:2回、R1:5回）



大名刺交換会

4 有収率向上のための機器の無償貸与・技術支援

- 企業局が漏水調査に用いる機器を市町村に無償貸与し、技術研修も実施することにより、市町村の漏水対策の取組を支援（H30:4団体、R1:5団体）

高感度音圧センサー及び
分析機器



技術研修会

講演・意見交換

5 県営水道関係市町村等懇談会（R1.5～）

- 現状の課題を共有し、広域連携の推進や今後の水道のあり方等に関して検討するとともに、関係市町村を個別に現地調査し、意見交換を実施
（参加者）長野市、松本市、上田市、塩尻市、千曲市、坂城町、山形村、企業局、環境部、企画振興部（R1:2回）

6 持続可能な水道経営の確立に向けたシンポジウム（R1.7）

- 第1部 「基調講演」 東洋大学 石井客員教授、厚生労働省、総務省
- 第2部 「パネルディスカッション」 コーディネーター：石井教授、パネリスト：厚生労働省、総務省、長野市、小諸市、青木村、環境部、企業局